



グループワーク導入

小野晃典研究会第9期

勿本慎弥

每川絢子



目次

1.大学生協インターン概要

2.グループワーク内容

3.グループワーク実践

4.タイムスケジュール

大学生協インターン概要



CUNIV.
CO-OP



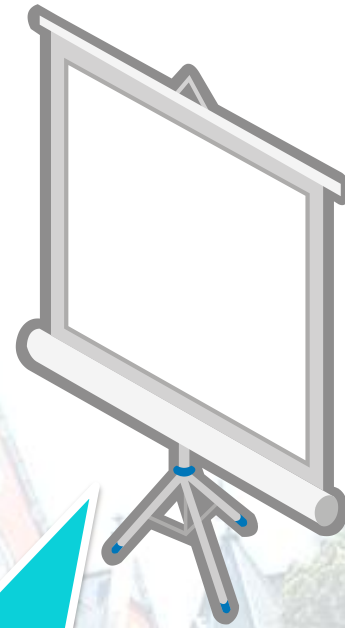
大学生協インターン概要

～NPO「JUON(樹恩)NETWORK」を
媒介として、大学生協でのCO₂削減を
どのように進めるか～



グループワーク内容

配布したレポートを...



パワーポイントにおこそう！

グループワーク内容

学んだ知識を
実践してみよう！



グループワーク内容

みなさんは、社会との対話で
大学生協の環境に関するプロ
グラムに参加することになり
ました。それにあたり、事前
発表をしましょう！

グループワーク実践 ～ステップ～

ステップ1

・ 重要な情報をピックアップしよう！

ステップ2

・ 情報をまとめよう！

全部で10枚作
りましょう！

ステップ3

・ パワーポイントを作成しよう！

タイムスケジュール

グループワーク説明 10分

休憩 15分

グループワーク 60分

発表 10分

毎川発表 5分

フィードバック 10分



Thinking Time...

ポイント

その1

•情報の取捨選択

その2

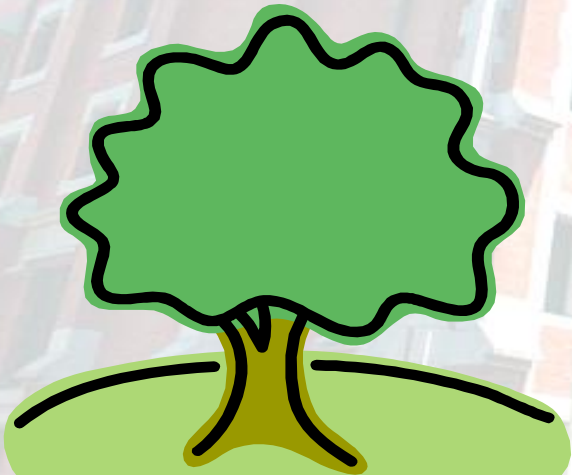
•得た知識を用いる

その3

•初見で理解してもらう



全国大学生生活協同組合連合会 ～NPO「JUON(樹恩)NETWORK」 を媒介として、大学生協での CO₂削減をどのように進めるか～



小野晃典研究会第9期
毎川絢子

本日の流れ

1.はじめに

2.大学生協に関して

3.JUON(樹恩)NETWORKに関して

4.研修テーマに関して

5.おわりに

6.参考文献

1.はじめに

～レポートの目的～

大学生協・JUON NETWORK
とはどういった組織なの
かを知る！

★ 研修テーマについて
理解を深める！

2.大学生協に関して

生協は協同組合であり、
組織者と消費者が同じである。



より消費者のニーズにあった
行動ができる！

3. JUON(樹恩)NETWORKに関して

1998年に大学生協の支援で設立したNPO団体。

主に森林に関する環境活動を行っている。
ex) 間伐材利用割り箸、田畑ボランティア

4.研修テーマに関して

～研修テーマ概要～

～NPO「JUON(樹恩)NETWORK」を
媒介として、大学生協でのCO₂削減を
どのように進めるか～

4.研修テーマに関して

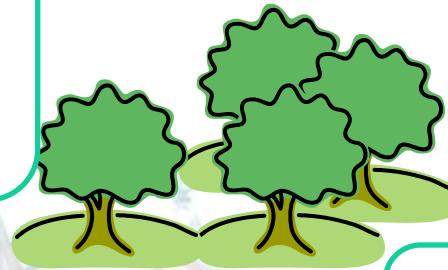
～研修テーマ概要～

間伐材使用割り箸、
『樹恩割り箸』
がCO₂削減に繋がりそう！

4.研修テーマに関して ～樹恩割り箸について1～

間伐とは？

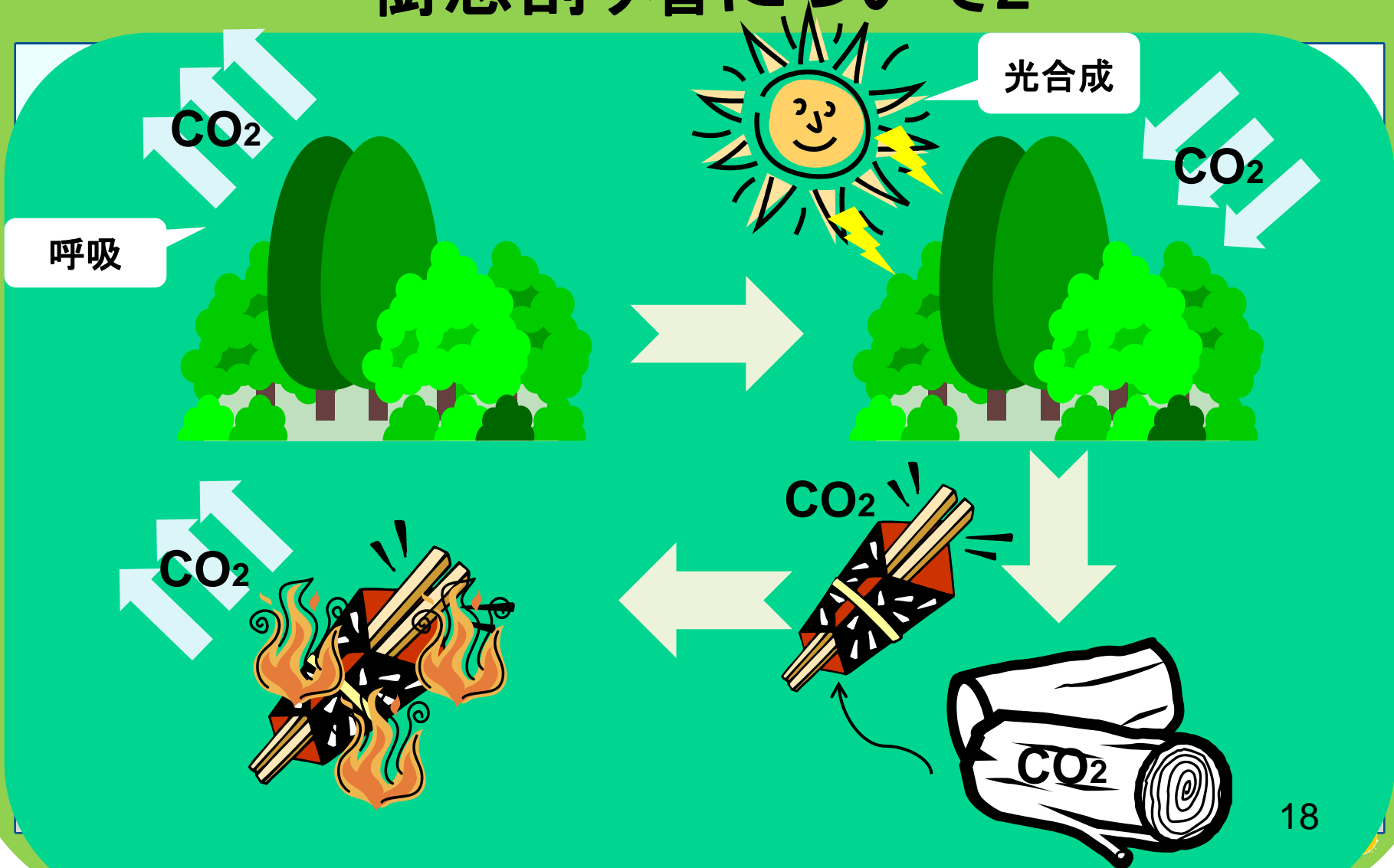
密集した樹木を
伐採し、樹木の
成長を促すこと！



間伐で伐採された木
材はどうなる？

森林内に放置!?

4. 研修テーマに関して ～樹恩割り箸について2～



4. 研修テーマに関して ～樹恩割り箸について2～

光合成で
樹木が吸収
したCO₂量

=

割り箸を焼
却した際に
発生する
CO₂量

5.おわりに

テーマのCO₂削減をどのように進めて行くかについては深く触れられなかった。



樹恩割り箸だけでなく、
JUON(樹恩)NETWORKを通して、
様々なCO₂削減方法を学びたい。

6. 参考文献

- 番場博之 (2007)
『生協の本：国内最大級の流通業についてみんなが知りたいこと』 コープ出版
- JA 東京みなみHP <http://www.ja-tm.or.jp/> 2011年6月6 日最終アクセス
- JA 全中HP <http://www.zenchu-ja.or.jp/profile/a.html> 2011年6月6 日最終アクセス
- JUON NETWORK HP <http://juon.univcoop.or.jp/index.html>
2011年6月6 日最終アクセス
- 株式会社モリモトHP <http://www.hashiya.com/index.html>
2011年6月6 日最終アクセス
- 日本生活協同組合連合会HP <http://jccu.coop/> 2011年6月6 日最終アクセス
- 日本割箸協会HP <http://www.waribasi.com/> 2011年6月6 日最終アクセス
- 森林林業学習館 HP <http://www.shinrin-ringyou.com/> 2011年6月6 日最終アクセス
- 全国大学生生活協同組合連合会HP <http://www.univcoop.or.jp/index.html>
2011年6月6 日最終アクセス

研修先 大学生生活協同組合連合会

研修テーマ『NPO「JUON(樹恩)NETWORK」を媒介として、 大学生協でのCO₂削減をどのように進めるか』

商学部2年キ組

毎川 絢子

1. はじめに

本レポートでは大学生生活協同組合連合会での研修にあたり、事前調査として、株式会社でもNPOでもない協同組合という形をとっている生活協同組合とは何か、NPO「JUON(樹恩)NETWORK」がどのような組織なのか、研修テーマの「NPO「JUON(樹恩)NETWORK」を媒介として大学生協でのCO₂削減をどのように進めるか」についての詳細を述べる。

2. 大学生協とは

わたしたち大学生にとって身近な存在である大学生協であるが、どのような仕組みで運営されているのか、どのような歴史を持っているのか、また、どのような事業を行っているのか、以下考察を進める。

2.1 協同組合とは

大学生協とは何かについて述べる前に、その原型となっている協同組合という組織について考えてみよう。協同組合とは株式会社とは違う。この違いを以下の表にまとめる。

	協同組合	株式会社
組織者	農業者, 漁業者, 森林所有者, 勤労者, 消費者, 中小規模の事業者など	投資家・法人
根拠法	農業協同組合法, 水産業協同組合法, 森林組合法, 中小企業等協同組合法, 消費者生活協同組合法など	商法
組織者の名称	組合員	株主
事業	組合員および会員のために最大の奉仕をすることを目的とし, 事業は根拠法で限定されている。	商法で事業は限定されていない。
利用者	組合員	不特定の顧客
運営方法	一人一票制 (人間的平等による民主的運営)	一株一票制 (株を多く持つ人が有利)

表1で記したように、上記の点で協同組合と株式会社とは異なる。

協同組合の組織者と利用者は同一であるので、企業のように自由な領域で事業は行えないが、出資者と組織者が同一であることによって正確なニーズに基づいた活動がなされていると思われる。

2.2 生協とは

簡単に言うと、大学生協とは、学生・教職員が大学生協に加盟し、出資することで運営されている組織である。

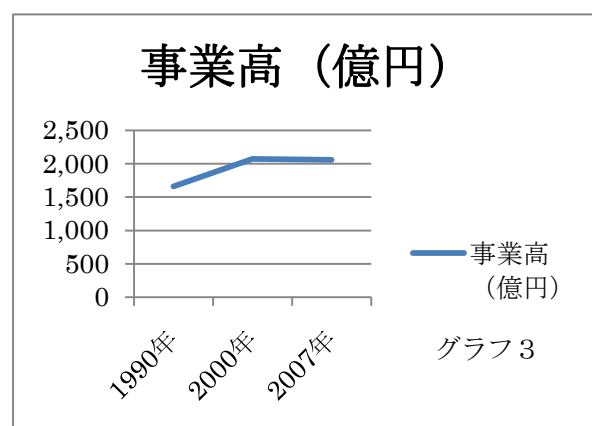
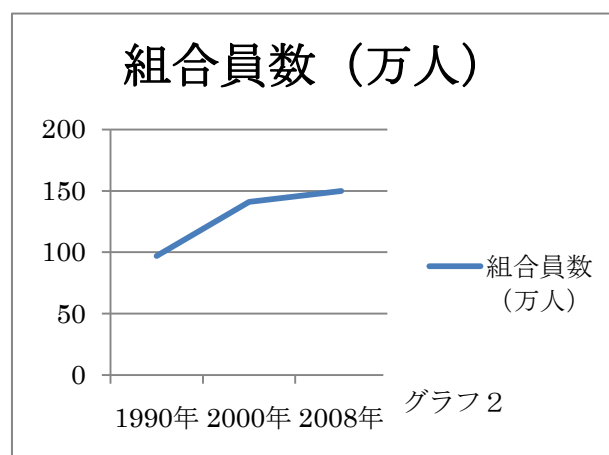
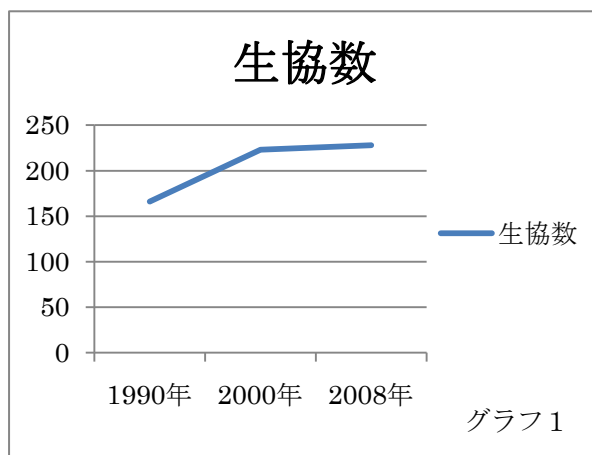
表1でも記したように、大学生協を含む協同組合の目的は企業出資者が必ずしも出資先の企業を利用するとは限らないが、協同組織の大学生協に関しては、出資者である学生・教職員が出資先の大学生協を利用する。また、協同組合全体に言えることではあるが、学生が大学を卒業する際など、所属していた協同組合を使用しなくなる場合には、出資金が返金されるシステムがある。

2.3 全国大学生協同組合連合の概要

全国大学生協同組合連合会は1947年に発足し、1959年に登記完了した組織である。

提携大学は212校、会員数は1,500,431人(2008年9月)、会員から大学生協への出資金は9億6494万円(2008年9月)という大規模組織である。

また、合計事業高は2,056億円(2007年)である。また、その内訳としては、書籍(18.6%)、購買・サービス事業など(66.9%)、食堂(14.5%)となっている。



このグラフから、生協数及び会員数は順調に増えて行っているのがわかる。

一方で事業高が2000年2007年にかけて、少しではあるが、減少してしまっている。

全国大学生協同組合連合 HP より筆者作成

2.4 大学生協の歴史

大学生協の歩みを大まかに記せば、以下のようにまとめられる。

年	大学生協の動き
1898年	同志社大学で消費者組合結成(最初の大学生協)
1946年	東京大学, 早稲田大学, 慶應義塾大学などで生協設立
1947年	全国学生協同組合連合会(全学協)発足
1948年	生協法制定
1949年	ノートの共同仕入れ開始
1958年	全国大学生生活協同組合連合会創立
1959年	全国大学生生活協同組合連合会の登記完了
1972年	「大学生協ハンドブック」所版発行
1997年	コープクレジット「Tuoカード」スタート
1998年	「JUON NETWORK(樹恩ネットワーク)」設立
2000年	「全国留学生組合員ネットワーク」発足
2001年	ICA(国際クレイセラピー協会)加盟
2004年	広報誌「Campus Life」創刊
2008年	新マーク発表

全国大学生生活協同組合連合会 HP より抜粋

大学生協の始まりは1898年と今から100年以上も前であるという事実も驚きだが、戦後の学生生活の変化に合わせ、新しい取り組みを続けていることもうかがえる。

2.5 大学生協の特徴

大学生協の活動の特徴として、明確に掲げられた4つの使命と、そこから展開する個性ある大学づくりを目指す試み、学生のキャンパスライフに貢献するための8つのビジョンがある。

4つの使命

- ・協同 学生・院生・留学生・教職員の協同で大学生生活の充実に貢献する
- ・協力 学びのコミュニティとして大学の理念と目標の実現に協力し、高等教育の充実と研究の発展に貢献する
- ・自立 自立した組織として大学と地域を活性化し、豊かな社会と文化の展開に貢献する
- ・参加 魅力ある事業として組合員の参加を活発にし、協同体験を広めて、人と地球にやさしい持続可能な社会を実現する

8つのビジョン

協同⇒協同の力で豊かなキャンパス生活を創造する

協同を通じて自由なコミュニケーションを促す

協力⇒大学に協力して高等教育と研究の発展に貢献する

自らも学びのコミュニケーションとして教育と研究に協力する

自立⇒自立した事業組織として大学とその周辺社会を活性化する

自立した魅力ある事業の展開で、豊かな社会と文化の展開に貢献する

参加⇒組合員の参加を活発にし、協同体験を広めて、人と地球にやさしい持続可能な社会をつくる

組合員の参加をふまえた運動組織として、国際交流と平和に貢献する

上記に記した4つの使命、8つのビジョンから、最も繋がりのある学生たちが如何によりよい大学生活を送れるか、また、大学内に留まらず、地元地域とのコミュニケーションを積極的にとること、また更に広いフィールドでの活動など多くのことを大学生協が手掛けているのがわかる。

2.6 活動・事業内容

大学生協が行っている活動・事業を具体的に述べると、新入生を迎える活動と事業、食育、施設・店舗づくり・サービス向上、大学との協力、学生キャリア形成支援、環境活動・地域貢献、読書推進、健康・安全への取組み、平和と国際連帯活動、学生生活の10項目がある。

これらの事業の具体例をいくつか挙げてみる。

・新入生を迎える活動と事業の例

新入生を迎える企画として「行列のできる」シリーズとして、2009年に岩手大学で「行列のできる大学生生活相談所」、 「行列のできる履修相談所」を行った。

大学生生活相談所は、昨年度まで岩手大学で行われていたウェルカムパーティー参加者数を上回るなど、良い結果を残している。

・食育

高崎経済大学では年に2回栄養士の方を招き食についての相談会を開いている。多くの学生がこの相談会に参加している。また、高崎経済大で新メニューコンクールなども開催している。グランプリを獲得した学生の立案したメニューが学食に取り入れられるなど学生にとって関心の高そうなイベントである。

・環境活動・地域貢献

2005年に東北大学で民間企業のバイクオフと協力して放置自転車を無料回収し、回収した自転車をリサイクルしたものを大学生に低価格で提供するという活動を行った。この活動は山形大学や横浜市立大学などに広まっていった。

・平和と国際連帯活動

大学生協では「Peace Now!」や「ユニセフ活動」、 「テーマのある旅」などを通して平和活動に携わってきた。最近のものとしては、「NPT(核不拡散条約)再検討会議」に大学生協から代表を出すなど、積極的な活動を行っている。

3. JUON(樹恩)NETWORK について

全国大学生協同組合連合会にインターンに行く際の研修テーマにおいて媒介とする NPO「JUON NETWORK」とは何かについて述べる。

3.1 研修テーマの概要

今回のインターンでの研修テーマは大学生協が支援している NPO「JUON NETWORK」で森林体験などを通して樹恩割り箸に関する活動を行い、CO₂削減に取り組むことである。

3.2 JUON(樹恩)NETWORK とは

JUON NETWORK は 1998 年に阪神淡路大震災のボランティア活動を通して生まれ、大学生協の支援によって設立された NPO 団体である。

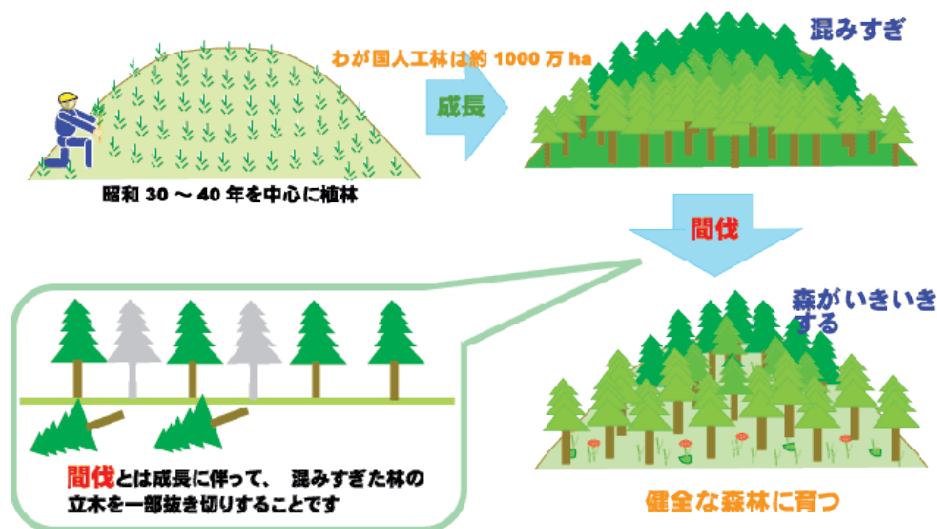
JUON NETWORK は、都市と過疎地域をネットワークで結ぶことで環境保全改良、地方文化の発掘と普及、過疎過密問題の解決を目的としている。

主な活動内容としては、間伐材・国産材での樹恩割り箸の製造、自然散策や森づくりを通して森林・環境問題について学ぶ森林の楽校、高齢化による農業の人手不足を補うために田畑でボランティアを行う田畑の楽校、少子化によって生まれた廃校を宿泊施設や図書館に再利用する廃校活用、森林ボランティア青年リーダー育成を行う講座、ボランティアをプロデュースできるまでにボランティア入門者を育成するための独自の検定であるエコサーパーの実施などがある。

3.3 樹恩割り箸について

樹恩割り箸とは国産材・間伐材を用いて作られた割り箸のことである。

間伐とは、森林の手入れの一環である。樹木が密集した状態だとどの樹木にも十分な日光が当たらない。これにより樹木の成長が妨げられる。そこである程度の樹木を伐採し、残りの樹木に日光が十分に当たるようにしている。



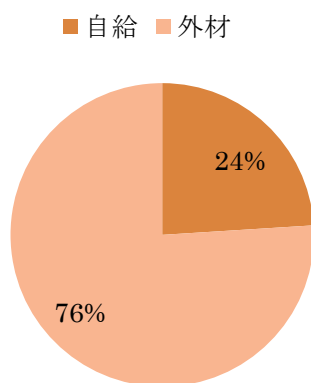
JUON NETWORK HP <http://juon.univcoop.or.jp/index.html> より

この行為を間伐と呼ぶ。樹木自身には何の問題もなく、間引きのために伐採されたこれらの木々を間伐材という。間伐材は今まで林内にそのまま捨てられていた。この間引きされた樹木の端材を割り箸にすることで有効活用するという考え方が樹恩割りばしである。

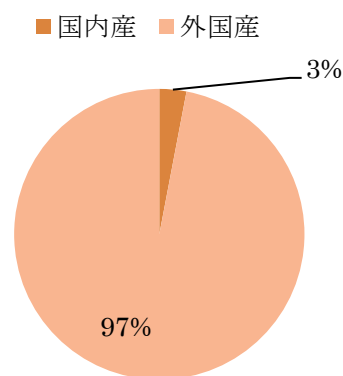
国産材や間伐材にこだわる理由に以下のものがある。

日本の国土の7割は森林であるにもかかわらず、木材輸入率は8割近いという矛盾が生じている。同様に割り箸も9割以上が輸入である。

日本の木材輸入率



日本の割り箸輸入量



2008年 森林・林業学習館 HP より

輸入国	割箸輸入量 (ケース:5,000 膳入り)
中国	2,000,000
チリ	3,500
ベトナム	2,000
インドネシア	800
その他	48

株式会社モリモト HP より

さらにその中でも最大の割り箸輸入相手国は中国である。中国の森林を破壊する一方で、山村の高齢化や過疎化、林業従事者不足を理由に日本国内の森林を放置している。国産材の使用を推進することで、国内の林業の活性化を図り、他国の森林破壊に歯止めをかけることができる。

他国の森林破壊を抑制することで、世界的に見て二酸化炭素の排出量を削減することができる。

3.4 なぜ割り箸なのか

次に、プレゼンをした際に頂いた質問からなぜ二酸化炭素削減に割り箸なのかを述べる。

Q1. 使用済み割り箸の焼却処分によって二酸化炭素が発生するのではないかな？

A1. 確かに焼却処分の際に、二酸化炭素は生じる。しかし、生じる二酸化炭素というのが、樹木が光合成で吸収した二酸化炭素である。つまり、プラスマイナスゼロである。このような二酸化炭素の増減に影響がないことをカーボンニュートラルという。

Q2. 二酸化炭素排出量がプラスマイナスゼロならば、割り箸を使うよりもプラスチック箸を使いまわした方がいいのではないかな？

A2. A1で述べたように、使用済みの割り箸を焼却した場合、二酸化炭素排出量はプラスマイナスゼロであり、Q2のような疑問が出てあたりまえである。しかし、プラスチック箸は洗浄において排水問題があり、大学生協の食堂でも排水規制が満たせず問題になっている。排水問題と排出量がプラスマイナスゼロである二酸化炭素問題を比べると、先に考えられなければならないのは排水問題であると考えられる。

これらのことから、大学生協や生協食堂でプラスチック箸を用いるよりも割り箸を用いる方が環境に良いといえる。

4. 考察

本レポートの目的である生協とは何か、NPO 団体「JUON(樹恩)NETWORK」とは何か、研修テーマについての詳細を述べてきた。しかし、日本の割り箸業界の現状や、樹恩割り箸がなぜ二酸化炭素削減によいかなどを知ることができたが、研修テーマの二酸化炭素削減をどのように進めて行くかについては深く触れられず、具体的な今後の方策を立てることができなかった。

夏のインターンシップでは、大学生協の現状などを詳しくお聞きすることでどの程度樹恩割り箸を大学生協や生協食堂で使用することができるのかなどを見極め、二酸化炭素削減をどのように進めて行くのが効果的なのか考えて行こうと思う。また、樹恩割り箸についてはHPからしか情報が得られなかったため、生協における樹恩割り箸の普及法だけでなく、樹恩割り箸自身に関してもインターンでは学びたいと思う。

最後に、本レポートではJUON(樹恩)NETWORKの活動の中で最も二酸化炭素削減に貢献していると思われる間伐材を用いた樹恩割り箸についてのみ触れたが、わたしが気づかなかっただけで実は他にも二酸化炭素削減に貢献している活動があるかもしれない。JUON(樹恩)NETWORKを通して様々な二酸化炭素削減の方法も学びたいと思う。

参考文献

- 株式会社モリモト HP <http://www.hashiya.com/index.html> 2010年7月6日最終アクセス
- 森林林業学習館 HP <http://www.shinrin-ringyou.com/> 2010年7月6日最終アクセス
- JA 東京みなみ HP <http://www.ja-tm.or.jp/> 2010年7月4日最終アクセス
- JUON NETWORK HP <http://juon.univcoop.or.jp/index.html> 2010年7月6日最終アクセス
- 全国大学生生活協同組合連合会 HP <http://www.univcoop.or.jp/index.html> 2010年7月6日最終アクセス
- 日本生活協同組合連合会 HP <http://jccu.coop/> 2010年7月6日最終アクセス
- 日本割箸協会 HP <http://www.waribasi.com/> 2010年7月6日最終アクセス
- 番場博之 (2007年) 『生協の本』 コープ出版

研修先 大学生協同組合連合会

研修テーマ 『NPO「JUON(樹恩)NETWORK」を媒介として,大学生協 でのCO₂削減をどのように進めるか』

商学部3年キ組

毎川 絢子

1. はじめに

近年,地球環境問題が明るみになる中で,企業やNPOをはじめ,様々な組織が解決に向けて策を講じている.我々,大学生の身近な存在である大学生協もそのひとつである.本レポートでは大学生協同組合連合会での研修にあたり,事前調査として,株式会社でもNPOでもない協同組合という形をとっている生活協同組合の組織構造をはじめ,大学生協の支援によって設立されたNPO「JUON(樹恩)NETWORK」の主な活動,さらにはCO₂削減に向けた取り組みについて概観したい.

2. 大学生協とは

わたしたち大学生にとって身近な存在である大学生協であるが,実際,そこでどのような仕組みで運営されているのか,どのような事業を行っているのか,以下分析を行う.

2.1 協同組合とは

大学生協とは何かについて述べる前に,その原型となっている協同組合という組織について考えてみよう.協同組合とは株式会社とは違う.この違いを以下の図1にまとめる.協同組合の組織者と利用者は同一であるので,企業のように自由な領域で事業は行えないが,出資者と組織者が同一であることによって正確なニーズに基づいた活動がなされていると推測される.

	協同組合	株式会社
組織者	農業者, 漁業者, 森林所有者, 勤労者, 消費者, 中小規模の事業者など	投資家・法人
組織者の名称	組合員	株主
利用者	組合員	不特定の顧客
運営方法	一人一票制 (人間的平等による民主的運営)	一株一票制 (株を多く持つ人が有利)

出所)JA 全中 HP「協同組合と株式会社の違い」より筆者作成.

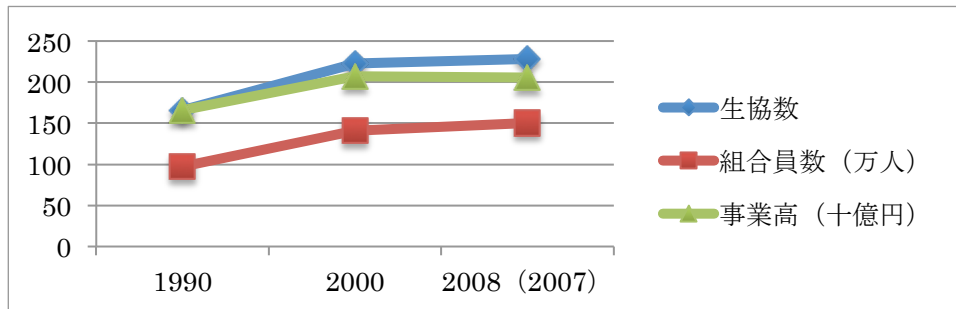
図1 協同組合と株式会社の比較

2.2 全国大学生協組合連合の概要

全国大学生協同組合連合会は1947年に発足し、1959年に登記完了した組織である。

提携大学は212校、会員数は1,500,431人(2008年9月)、会員から大学生協への出資金は9億6494万円(2008年9月)という大規模組織である。また、合計事業高は2,056億円(2007年)である。

図2から、生協数及び会員数は順調に増加している一方で、事業高が2000年2007年にかけて、わずかに減少しているという変化を読み取ることができる。



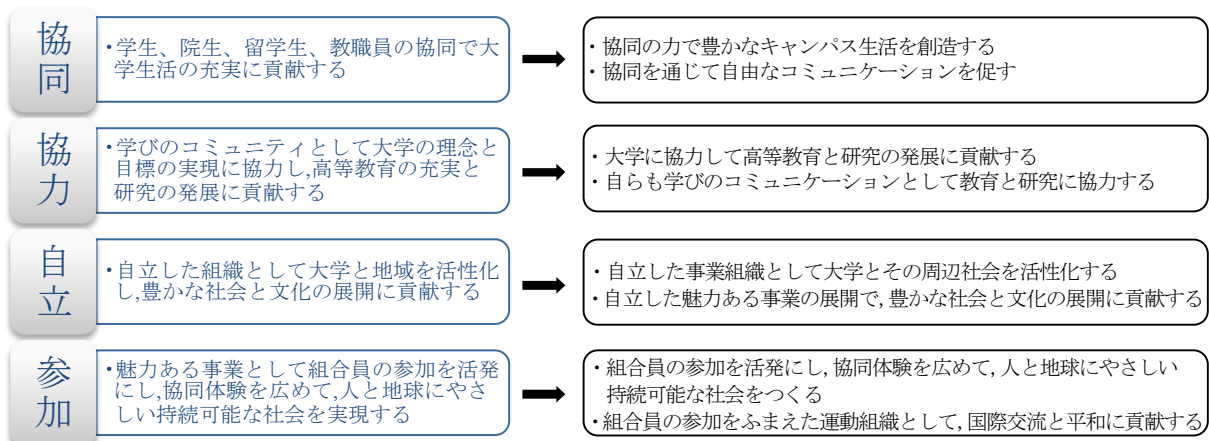
ただし、生協数および組合員数は2008年、事業高は2007年。

出所) 全国大学生協同組合連合 HP「全国大学生協連の概要」より筆者作成。

図2 全国生協数、組合員数、および事業高

2.3 大学生協の特徴

大学生協の活動の特徴として、明確に掲げられた4つの使命と、そこから展開する個性ある大学づくりを目指す試み、学生のキャンパスライフに貢献するための8つのビジョンがある。最も繋がりのある学生たちが如何によりよい大学生活が送れるか、また、大学内に留まらず、地元地域とのコミュニケーションを積極的にとること、また更に広いフィールドでの活動など多くのことを大学生協が手掛けているのが見受けられる。さらに、協同組合全体に言えることではあるが、学生が大学を卒業する際には、所属していた協同組合を使用しなくなる場合には、出資金が返金されるシステムがある。このように、株式会社と異なり、出資金が確実にかつ同額で返金されることに特徴がある。



出所) 全国大学生協同組合連合 HP「全国大学生協連の概要」より筆者作成。

図3 4つの使命と8つのビジョン

3. JUON(樹恩)NETWORK について

全国大学生協同組合連合会にインターンを行う際の研修テーマにおいて媒介とする NPO「JUON NETWORK」とは何かについて述べる。

3.1 研修テーマの概要

今回のインターンでの研修テーマは大学生協が支援している NPO「JUON NETWORK」で森林体験などを通して樹恩割り箸に関する活動を行い、CO₂削減に取り組むことである。

3.2 JUON(樹恩)NETWORK とは

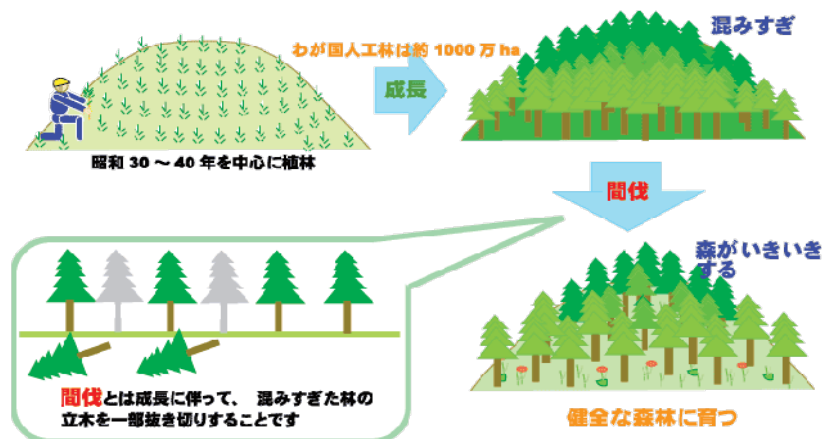
JUON NETWORK は 1998 年に阪神淡路大震災のボランティア活動を通して生まれ、大学生協の支援によって設立された NPO 団体である。さらに、都市と過疎地域をネットワークで結ぶことで環境保全改良、地方文化の発掘と普及、過疎過密問題の解決を目的としている。

主な活動内容としては、間伐材・国産材での樹恩割り箸の製造、自然散策や森づくりを通して森林・環境問題について学ぶ森林の楽校、高齢化による農業の人手不足を補うために田畑でボランティアを行う田畑の楽校、少子化によって生まれた廃校を宿泊施設や図書館に再利用する廃校活用、森林ボランティア青年リーダー育成を行う講座、ボランティアをプロデュースできるまでにボランティア入門者を育成するための独自の検定であるエコサーバーの実施などがある。

3.3 樹恩割り箸について

樹恩割り箸とは国産材・間伐材を用いて作られた割り箸のことである。間伐とは、森林の手入れの一環である。樹木が密集した状態だとどの樹木にも十分な日光が当たらない。これにより樹木の成長が妨げられる。そこである程度の樹木を伐採し、残りの樹木に日光が十分に当たるようにしている。

樹木自身には何の問題もなく、間引きのために伐採されたこれらの木々を間伐材という。間伐材は今まで林内にそのまま捨てられていた。この間引きされた樹木の端材を割り箸にすることで有効活用するという考え方が樹恩割り箸である。



出所) JUON NETWORK HP「全国大学生協連の概要」より筆者作成。

図 4 日本における間伐

3.4 なぜ割り箸なのか

本レポートに対して、社会との対話の授業内で多くの質問が寄せられた。そこで、この説ではその質問に対しての回答を記述する。

(1) 使用済み割り箸の焼却処分によって二酸化炭素が発生するのではないか。

確かに焼却処分の際に、二酸化炭素は生じる。しかし、生じる二酸化炭素というのが、樹木が光合成で吸収した二酸化炭素である。つまり、プラスマイナスゼロである。このような二酸化炭素の増減に影響がないことをカーボンニュートラルという。

(2) 二酸化炭素排出量がプラスマイナスゼロならば、プラスチック箸を使った方がいいのではないか。

(1)で述べたように、使用済みの割り箸を焼却した場合、二酸化炭素排出量はプラスマイナスゼロであり、(2)のような疑問が出て当然である。しかし、プラスチック箸は洗浄において排水問題があり、大学生協の食堂でも排水規制が満たせず問題になっている。排水問題と排出量がプラスマイナスゼロである二酸化炭素問題を比べると、先に考えられなければならないのは排水問題であると考えられる。

4. 考察

本レポートの目的である、生協とは何か、NPO 団体「JUON(樹恩)NETWORK」とは何か、研修テーマについての詳細を述べてきた。しかし、樹恩割箸がなぜ二酸化炭素削減によいのかなどを知ることができたが、研修テーマの二酸化炭素削減をどのように進めて行くかについては深く触れられず、具体的な今後の方策を立てることができなかった。

夏のインターンシップでは、大学生協の現状などを詳しく聞くことでどの程度樹恩割箸を大学生協や生協食堂で使うことができるのかなどを見極め、二酸化炭素削減をどのように進めて行くのが効果的なのか考えなければならない。また、樹恩割箸についてはHPからしか情報が得られなかったもので、生協における樹恩割箸の普及法だけでなく、樹恩割箸自体に関してもインターンでは学びたい。

最後に、本レポートではJUON(樹恩)NETWORKの活動の中で最も二酸化炭素削減に貢献していると思われる間伐材を用いた樹恩割箸についてのみ触れたが、他にも二酸化炭素削減に貢献している活動があるかもしれない。JUON(樹恩)NETWORKを通して様々な二酸化炭素削減の方法も学びたいと思う。

参考文献

番場博之 (2007) 『生協の本：国内最大級の流通業についてみんなが知りたいこと』 コープ出版

JA 東京みなみ HP <http://www.ja-tm.or.jp/> 2011年6月6日最終アクセス

JA 全中 HP <http://www.zenchu-ja.or.jp/profile/a.html> 2011年6月6日最終アクセス

JUON NETWORK HP <http://juon.univcoop.or.jp/index.html> 2011年6月6日最終アクセス

株式会社モリモト HP <http://www.hashiya.com/index.html> 2011年6月6日最終アクセス

日本生活協同組合連合会 HP <http://jccu.coop/> 2011年6月6日最終アクセス

日本割箸協会 HP <http://www.waribasi.com/> 2011年6月6日最終アクセス

森林林業学習館 HP <http://www.shinrin-ringyou.com/> 2011年6月6日最終アクセス

全国大学生生活協同組合連合会 HP <http://www.univcoop.or.jp/index.html> 2011年6月6日最終アクセス